

生き生き通信

号外



編集・発行 そのだ修光事務所 発行日 2020年8月 印刷 株式会社イースト朝日 〒891-0122 鹿児島市南栄3丁目30-7

鹿児島事務所/〒891-0143 鹿児島市和田2丁目39-1 TEL:099-260-1417

国会事務所/〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館607号室 TEL:03-6550-0607 FAX:03-6551-0607

新型コロナウイルス感染拡大により多大な影響を受けながら、懸命に働いていらっしゃる介護事業に従事されるすべての方に、心よりお見舞い申し上げます。



介護で働く皆様の努力に報いたい!



第2次補正予算

新型コロナウイルス感染症交付金(介護分)が、当初より大幅アップ!

6月12日に成立した第2次補正予算において、緊急包括支援交付金のうちの介護分野にあてられる予算として4,132億円が計上されました!

当初の補正予算案では1,500~2,000億円程度と見込まれており、高齢者介護施設・事業所のすべて、かつ感染施設以外のすべての職員を対象とした慰労金は認められない、という方向性でした。

しかし、それでは介護現場は報われません! 介護現場において感染の発生が少なかったことは、現場職員が感染防止のために懸命の努力をしてきた成果であり、皆様の頑張りになんとしても応えたい!

そんな思いで、そのだ修光は、介護の現場で働く皆様の声、関係団体の要望を広く集めて、官房長官・財務省・厚労省に対してねばり強く要請を行いました。



介護現場からの要望を厚労省へ伝えました!

その結果、高齢者介護施設・事業所のすべて、かつ感染施設以外のすべての職員を対象とした慰労金を含む4,132億円の予算を積み上げることができました!

当初は
1,500~
2,000億円
程度

予算額
4,132
億円!



介護3団体の代表と、コロナ禍への対応の改善点について意見交換し、医療機関から介護施設に戻ってくる利用者に対しPCR検査での陰性確認を行って欲しいという要望を頂きました。これからもそのだ修光は、介護現場を守り、発展させるため、手を携え要望を政策に反映させるべく、邁進してまいります。

6月24日、全国老人福祉施設協議会の平石朗会長、全国老人保健施設協会の東憲太郎会長と日本認知症グループホーム協会の河崎茂子会長と共に菅義偉内閣官房長官を表敬訪問し、介護現場の代表団として、令和2年度第二次補正予算の御礼を申し上げました。

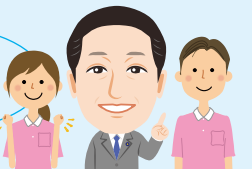


主な事業内容(要旨)

実施主体: 都道府県 補助率: 国10/10

- 1 介護施設/事業所に勤務する職員に慰労金支給!
- 2 感染症対策を徹底した上での介護サービス提供を支援(事業者支援)
- 3 今後の感染拡大に備えて介護施設等のための手袋を備蓄
- 4 再就職準備金貸付事業の拡充
- 5 介護報酬の適用特例
- 6 サービス再開に向けた支援

各事業の内容は裏面をご覧ください!



事業の流れ

国

都道府県(福祉部局) 衛生用品の備蓄支援等

交付

交付

感染症対策の徹底支援

- 感染症対策に必要な物品や研修等のかかり増し費用

職員の方へ慰労金支給

- 職員の方への慰労金

サービス再開支援

- 利用者へのアクセスメント
- 再開準備

来たる2021年度 介護報酬改定 プラス改定で介護現場を元気に!